

「元気」「笑顔」「思いやり」つながる

じょうさい

城西中学校だより

第13号

令和8年9月8日

校長 松門寺 宏和

次のステージに向けた主体的な歩みを

40日以上に及ぶ長い夏季休業が終わり、いよいよ令和8年度の2学期が始まりました。8月の終わりに登校日を設けていたことや、一人一人がしっかりと生活リズムを整えようと努力してくれた成果かもしれませんが、9月1日の登校時に校門で挨拶運動をしていると、多くの生徒が元気に挨拶をしてくれました。

1学期を振り返り、2学期の目標を決めることについては、以前から話をしていましたので、始業式では、『一人一人が次のステージに向けた取り組みを主体的に進めてほしい』という話をしました。そのための第一歩として、『自分自身に素直になる努力をしてほしい』ということを伝えました。

中学生は、周囲を気にする時期です。「〇〇さんが△△と言ってるから」とか、「〇〇さんが△△をしているから」といった周囲の友だちの言動が、自らの言動の根拠や基準になってしまうことがあります。この時期は、人間の成長過程からすれば、当たり前訪れる時期だと思えますし、順調に成長できている証とも受け取ることができます。ただ、なかには周囲を気にしすぎるあまり、「自分はどう考えているのか」、「自分は どうしたいのか」といった自分の素直な気持ちと向き合わず（気づいていて目を背けることもあるようです）、日々を過ごしていった結果、時間がなくなってしまったという場面が多々見られます。そして、焦ってしまうことで、さらに混乱してしまうことになります。こうした悪循環に陥ってしまう前に、今こそ素直に、自分の気持ちと向き合ってみる必要があると考えます。

2学期もさまざまな学校行事が予定されています。また、生徒たち一人一人がそれぞれに習い事等もしていると思います。おそらく、毎日慌ただしく生活を送ることになると考えられます。そのような中でも、自分で考え、自分で判断し、主体的に取り組むことができるよう、2学期も引き続き、城西中学校の教職員一同で指導・支援を行ってまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

前期期末テストが終了しました。

9月2日（水）～4日（金）の三日間で前期期末テストを実施しました。一年生にとっては初めての9教科のテストでしたので、準備も大変だったと思います。テスト期間中、廊下を歩きながら、テストを受けている様子を見て回りましたが、真剣な表情で、粘り強く問題と向き合っている姿がたくさん見られました。今回、うまくいかなかったところは、次回のテストの取り組みに生かしてほしいと思います。

ボランティア活動を頑張ってくれました!!

夏季休業中に、自分の時間を削って、地域のためにボランティア活動を頑張ってくれた生徒がたくさんいます。直接会場に足を運び、全員を応援することができなかったのが悔やまれるところですが、今後もボランティア募集がある時は、たくさんの生徒の皆さんが参加をしてくれることを期待しています。

◎ 7月28日～31日

「夏休み宿題お助け隊ボランティア」

11名の生徒が活動をしてくれました。

教頭先生が会場に行くと、小学生に優しく指導している姿が見られたそうです。

◎ 8月22日(土)

「かたりべの里本庄祭」

10名の生徒が活動をしてくれました。

案内・誘導係や抽選会のお手伝いなどをしてくれました。

◎ 8月23日(日)

「西与賀こども夏まつり」

8名の生徒が活動をしてくれました。会場となった西与賀公民館にはたくさんの方々が来場されており、ベビーカステラづくりと販売、段ボール工作を通じて、たくさんの来場者の方々に笑顔にしました。



来場された方に無料で配付されたベビーカステラです。

工事のお知らせがまいりました。

九州農政局筑後川下流右岸農地防災事務所から、学校に工事のお知らせがまいりました。期間は令和8年9月8日～令和9年3月31日の予定とのことで、下図の箇所で、クリークの整備工事が行われるそうです。大型車両が行き来することが想定されますので、通行の際には気を付けるよう、ご家庭でもご指導ください。

